

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-6	小学校	道徳	道徳	第2学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	道徳 204	小学どうとく 2 はばたこう明日へ		

1. 編修の基本方針

本教科書は、教育基本法に示された「教育の目標（教育基本法第二条第1～5号）」の達成を目指し、以下の方針に基づいて編修しました。

次の時代を切り開いていく資質・能力を身に付ける教科書

これからの時代を生きていく児童たちにとっては、自分とは異なるさまざまな価値観や言語、文化を背景とする人たちと相互に尊重し合うことが、今まで以上に重要となります。本教科書では、地域・学校や児童の実態に応じて、こうした資質・能力を身に付けることができるように教科書の構成や教材内容、学習方法の提示を工夫しています。教科書を活用して学習することで、幅広い知識と教養を身に付け、豊かな情操と道徳心を培うことができるようにしています。

本教科書では、児童が他者とのコミュニケーションを通して、自分の言葉で表現する力をつけるとともに、自分と異なる意見にも接して、他者と相互に理解し合うことの重要性を確認することができます。また、他者とともに学習するなかでより深く考え、児童一人一人が自分を成長させることができます。このような学習を通して、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培うことができるようにします。



▲2年 8 わたしだけの かばん (pp.32-33)

考え、議論する姿勢を身に付ける教科書

人としての生き方や社会のあり方について、多様な価値観が存在することを認識しつつ、自ら考え、他者と対話し協働しながら、よりよい方向を探し続ける資質・能力を身に付けることができるようにしています。このような学習を通して、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んじる態度を養うことができますようにしています。



▲2年 25 ゆかみがき (pp.100-101)

現代的な課題と向き合う教科書

児童をとりまくさまざまな社会的・教育的課題を多く取り上げています。いじめ問題や情報モラルに関する学習を通して、自他の敬愛と協力を重んじる態度を養うことができます。また、かけがえない生命についての学習を通して、生命を尊び、自然を大切にすることを、そしてグローバル化が進む社会についての学習を通して、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができますようにしています。



▲2年 18 ぼんたとかんた (pp.70-71)

問題解決的な学習を重視した教科書

自らの人生や社会において答えが定まっていない問いを受け止め、多様な他者と議論を重ねて探求し、納得できる解答を得るための資質・能力を養うことができます。このような学習を通して、真理を求める態度を養うこと、そして主体的に社会の形成に参画し、発展に寄与する態度を養うことができますようにしています。



▲2年 7 るっぺ どうしたの (pp.28-29)

2. 対照表

図書の構成・内容と教育基本法第二条の第1号から第5号との対応を示します。

教育基本法第二条

〈第1号〉幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。

〈第2号〉個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。

〈第3号〉正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。

〈第4号〉生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。

〈第5号〉伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
二年生の どうとくの 学しゅうが はじまるよ どうとくでは こんな 学しゅうを するよ	二年生の道徳の学習に向けての心がまえをもつことで、これからの学習で豊かな情操と道徳心を培えるようにしました。〈第1号〉	pp.2-3 pp.4-5
しぜんとふれ合う 1 春が いっぱい	すがすがしい春の自然に親しみ、動植物に優しい心で接することで、自然を大切にし、環境に寄与する態度を養えるようにしました。〈第4号〉	pp.6-9
気もちのよいあいさつ 2 知らない 人にも 3 あいさつ (スキル)	<ul style="list-style-type: none"> 学校を訪れた保護者への挨拶を題材にして、知らない人にも挨拶をする大切さを学び、豊かな情操と道徳心を培えるようにしました。〈第1号〉 実際に言葉づかいや動作などに気をつけて正しい挨拶をしてみることで、豊かな情操と道徳心を培えるようにしました。〈第1号〉 	pp.10-12 pp.13-15
きまりをまもって 4 よいのかな 5 みんなの ものって? (スキル)	<ul style="list-style-type: none"> 学校でみんなが使う一輪車を題材にして、約束やきまりを守る大切さを考え、公共の精神を養えるようにしました。〈第3号〉 学校のサッカーボールや公園の花を題材にして、みんなが使う物の扱い方を体験的に学び、公共の精神を養えるようにしました。〈第3号〉 	pp.16-19 pp.20-23
だれとでも ○なかまはずれを なくす ために 6 たかしくんも いっしょに	学級での仲間はずれを題材にして、好き嫌いにとらわれずに人と接する大切さを考え、正義と責任を重んずる態度を養うことができるようにしました。〈第3号〉	p.24 pp.25-27
きそく正しい生活 7 るっぺ どうしたの 8 わたしだけの かばん 9 教えて いいのかな	<ul style="list-style-type: none"> わがままなるっぺの行動を通して、わがままとしないで規則正しい生活をする大切さを考え、健やかな身体を養えるようにしました。〈第1号〉 新しいかばんを欲しがらる児童を題材にして、物や金銭の大切さを学び、道徳心を培えるようにしました。〈第1号〉 家族が留守のときにかかってきた電話を題材にして、安全(個人情報保護)の大切さを考え、健やかな身体を養えるようにしました。〈第1号〉 	pp.28-31 pp.32-34 pp.35-37
いつもすなおに 10 金の おの	正直なきこりと仲間のきこりの話を通して、素直に伸び伸びと生活する大切さを学び、道徳心を培えるようにしました。〈第1号〉	pp.38-41

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
自分がやるべきこと 11 あと少し 12 はりきりパンダとだらだらパンダ	<ul style="list-style-type: none"> • なわとびの練習を題材にして、自分のやるべきことをしっかりと行うことの大切さを学び、自主及び自律の精神を養えるようにしました。〈第2号〉 • 語りかけるぬいぐるみを題材にして、自分のやるべきことをしっかりと行うことの大切さを考え、自主及び自律の精神を養えるようにしました。〈第2号〉 	pp.42-44 pp.45-47
友だちとなかよく 13 みほちゃんと、となりのせきのますだくん 14 およげないりすさん	<ul style="list-style-type: none"> • 絵本作品を通して、友達と仲よくして助け合うことの大切さを考え、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うことができるようにしました。〈第3号〉 • 泳げないリスを題材にして、友達と仲よくして助け合うことの大切さを学び、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うことができるようにしました。〈第3号〉 	pp.48-53 pp.54-57
あたたかい心で 15 電車の中で 16 きゅう食当番（スキル）	<ul style="list-style-type: none"> • 電車の中のできごとを題材にして、身近な人に親切にすることの大切さを学び、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うことができるようにしました。〈第3号〉 • 実際に給食当番になって1年生を手伝う場面を演じることで、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うことができるようにしました。〈第3号〉 	pp.58-61 pp.62-65
わたしのよさ ○自分のよいところを考えよう 17 とおるさんのゆめ	学級での「友達のよいところ」を伝える時間を題材にして、友達や自分の特徴に気づき、個人の価値を尊重する態度を養うことができました。〈第2号〉	p.66 pp.67-69
よいと思うことをすすんで 18 ぼんたとかんだ 19 つよいこころ	<ul style="list-style-type: none"> • 二人のやりとりを通して、善悪の区別をし、よいことを進んで行うことの大切さを学び、正義と責任を重んずる態度を養うことができました。〈第3号〉 • 勇気を出すには何が必要かを考え、自主及び自律の精神を養うことができるようにしました。〈第2号〉 	pp.70-74 pp.75-77
大きな家ぞく 20 おむかえ 21 ぼくもがんばるよ	<ul style="list-style-type: none"> • 東日本大震災の実体験をもとに、家族が助け合うことによって苦境を乗り越える力をもてることを知り、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うことができるようにしました。〈第3号〉 • ドッジボール大会のできごとを通して、敬愛する家族の役に立つ大切さを学び、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うことができるようにしました。〈第3号〉 	pp.78-82 pp.83-85
楽しい学校 22 大なわ大会	学級全員でがんばった大縄大会を題材にして、学級や学校の生活を楽しくする方法を考え、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるようにしました。〈第3号〉	pp.86-89
ありがとうの気持ち 23 ありがとうはだれが言う？ 24 きつねとぶどう	<ul style="list-style-type: none"> • おばあちゃんとの買い物のできごとを通して、日頃世話になっている人に感謝することの大切さを考え、道徳心を培えるようにしました。〈第1号〉 • 親ぎつねの子ぎつねへの愛情の深さを通して、家族に感謝することの大切さを考え、豊かな情操と道徳心を培えるようにしました。〈第1号〉 	pp.90-94 pp.95-99
はたらくことのよさ 25 ゆかみがき	自発的に床磨きをする児童の姿を通して、みんなのために働くことの大切さを考え、自主及び自律の精神を養うとともに、勤労を重んずる態度を養えるようにしました。〈第2号〉	pp.100-103
大切ないのち 26 今のぼく、むかしのぼく 27 せい長かいだん	<ul style="list-style-type: none"> • 自分が生まれた頃を振り返って、生命の大切さについて考えることで、生命を尊ぶ態度を養えるようにしました。〈第4号〉 • 自分の成長を振り返って、生きることのすばらしさを実感することで、生命を尊ぶ態度を養えるようにしました。〈第4号〉 	pp.104-107 pp.108-109

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
すがすがしい心 28 しあわせの王子	美しいものにふれてすがすがしい心をもつことで、豊かな情操を培えるようにしました。〈第1号〉	pp.110-113
国やふるさとに親しむ 29 日本のたから 富士山	富士山を題材にして、我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつことで、我が国の郷土を愛する態度を養えるようにしました。〈第5号〉	pp.114-117
せかいの人たちに親しむ 30 国旗と国歌を大切に	世界のどの国にも国旗や国歌があることを知り、他国の人々や文化に親しむことで、他国を尊重する態度を養えるようにしました。〈第5号〉	pp.118-119
しぜんとふれ合う 31 虫が大すき (アンリ・ファール)	・アンリ・ファールの子どもの時代の話を通して、自然を大切にし、環境に寄与する態度を養えるようにしました。〈第4号〉	pp.120-123
しぜんとふれ合う 32 みぢかなしぜん	・施設の利用を通して、自然を大切にし、環境に寄与する態度を養えるようにしました。〈第4号〉	pp.124-125
大切ないのち 33 いただきます	自分のふだんの食事を振り返って、生命の大切さを実感することで、生命を尊ぶ態度を養えるようにしました。〈第4号〉	pp.126-127
すがすがしい心 34 雨上がりの空に	虹にふれてすがすがしい心をもつことで、豊かな情操を培えるようにしました。〈第1号〉	pp.128-129
国やふるさとに親しむ 35 あがれ、大だこ	大凧祭りを通して、郷土の文化と生活に親しみ、郷土を愛する態度を養えるようにしました。〈第5号〉	pp.130-131
学びのきろく 一年間のどうとくの学しゅうをふりかえろう	一年間の道徳の学習を振り返ることで、豊かな情操と道徳心を培えるようにしました。〈第1号〉	pp.132-134 p.135
みにつけよう れいぎ・マナー	身近な礼儀とマナーを折込資料としてまとめることで、それらの定着を図り、豊かな情操と道徳心を培えるようにしました。〈第1号〉	pp.137-138

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

教育基本法第五条に示す義務教育の目的や学校教育法第二十一条に示す義務教育の目標などを達成するため、以下の点について編修上の工夫をしました。

礼儀やマナーの確実な定着

巻末には「公きょうの場でのマナー」「学校でのマナー」「公きょうの場での心くばり」「ぜん校しゅう会でのマナー」を掲載した折込資料を設け、礼儀やマナーの確実な定着を目指しました。

ユニバーサルデザイン（UD）による多様性への配慮

○カラーユニバーサルデザイン（CUD）や特別支援教育への対応

色覚等の特性を踏まえた、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字（ユニバーサルデザインフォント）などの工夫により、全ての児童にとって学びやすい紙面づくりに配慮しています。

○「パラリンアート」の取り組み

さまざまな人々との共生について理解を深める観点から、障がいのある人が描いた作品（障がい者アート）を教科書に掲載することにより、「パラリンアート」の活動支援にも取り組んでいます。

地球となかよし

教科書の印刷には、環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用し、地球環境への負荷軽減に配慮しています。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-6	小学校	道徳	道徳	第2学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	道徳 204	小学どうとく 2 はばたこう明日へ		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

編修の基本方針

○学びやすい

内容項目との関連が明確になっていますので、先生も児童も教材の主題を意識して授業に臨むことができます。

○多様性の重視

さまざまな考え方をもちた児童の立場を考慮して、多面的・多角的に考えられる教材を数多く用意しました。自分の考えを述べて、友達の考えを聞いて、みんなで話し合う充実した道徳の授業を行うことができます。

○楽しく学べる紙面

楽しく円滑な授業が行えるように、見開きに1点はイラストや写真を用いています。イラストは教材の特徴に合わせ、児童が教材の内容をイメージしやすいよう配慮して作成しています。



▲2年 1 春が いっぱい (pp.6-7)

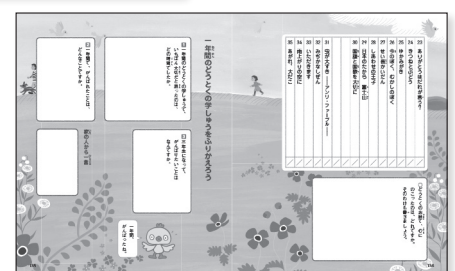
教科書の全体構成

○道徳開きと振り返り

巻頭には道徳開きのページを4ページ設けました。一年間の道徳授業の最初に、現在の自分を知ることから始めます。いちばん大切なことを考えることから一年間の道徳の授業が始まります。次のページでは、道徳の授業でどのような学習をするのかを確認し、授業のイメージができるようにします。また、巻末には振り返りのページを設けました。一年間の道徳の学習で



◀二年生の どうとくの学しゅうが はじまるよ (pp.2-3)



2年 学びのきろく ▶
一年間のどうとくの学しゅうをふりかえろう (pp.134-135)

いちばん大切だと思ったことを記入することで、心の成長をみとることができます。そして次の学年に進級したときになりたい自分を想定して、次の学年へと道徳の学習をつないでいきます。

○教材

教材は内容項目ごとにまとめて掲載しています。学年のはじめは自分自身に関する教材を多く配置するなど、児童の発達段階を考慮した配列にしています。また、小学校の年間行事（運動会、遠足、発表会など）と関連させて指導ができるよう配置しています。

多様で体験的な学習ができるようにモラルスキルトレーニングを各所に取り入れました。また、読み物教材にも役割演技を取り入れるなど教材内容に工夫を施しました。

○導入（学習のねらい）の明確化

教材ごとにキャラクター（とりどり先生）による導入（主題への誘い）を設けました。教材を読む前に、どのような価値について学習するのか、どんなことを考えるのかを意識できるようにした気づきの発問です。

○学びの手引き

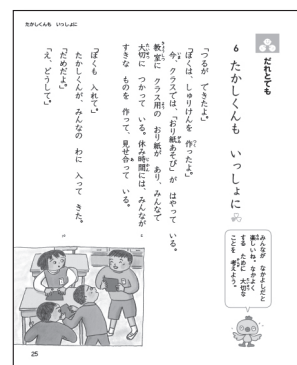
授業の学びの流れを可視化した発問を教材ごとに設けました。教材本文をもとにして考え議論する問いとしての「考えよう」から、道徳的価値そのものへの問い、価値理解を深めることができる設問としての「ふかめよう」、今後の行動や他教科と連携した発展的な学習につなげる「つなげよう」で構成しています。また、役割演技をすることによって道徳的価値の理解をより深めることを目指す「やってみよう」は「考えよう」の一項目として設け、児童が考えるヒントとなるキャラクターの発言なども記載しました。手引きの発問は、教科書全体を通して問題解決的な学習ができるように作成してあります。

○補充教材

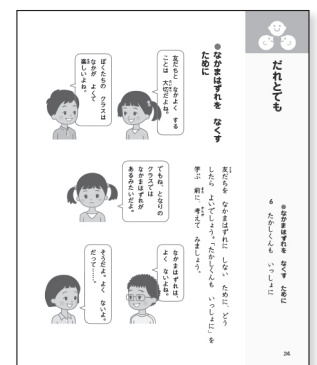
それぞれの道徳的価値の理解をより深めるための補充教材を巻末に5本用意しました。学校や地域の実態を考慮して、弾力的に活用することができます。



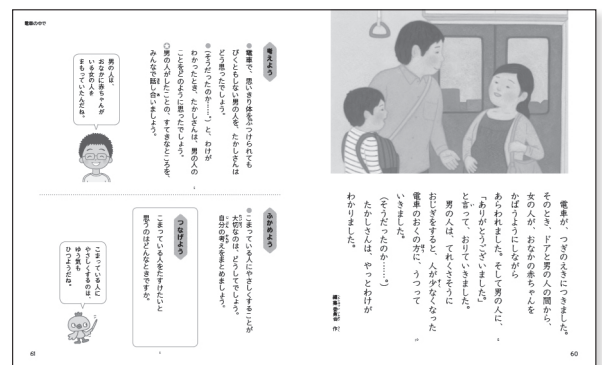
▲2年 2 知らない 人にも (pp.10-11)



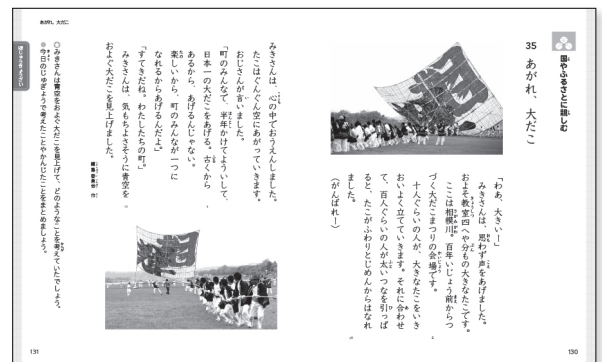
▲2年 6 たかしくんも いっしょに (p.25)



▲2年 〇ななまはずれをなくす ために (p.24)



▲2年 15 電車の中で (pp.60-61)



▲2年 35 あがれ、だだこ (pp.130-131)

題材の特色 2年

○道徳の授業で繰り返し指導されてきた教材

長く教育現場で指導され、親しまれてきた教材（定番教材）を厳選して掲載しています。



▲2年 14 およげないりすさん (pp.54-55)

定番教材以外にも、良質な自作教材を多数掲載しています。

この他の定番教材

- 7 るっぺ どうしたの (pp.28-31)
- 10 金の おの (pp.38-41)
- 18 ぼんたとかんた (pp.70-74)
- 24 きつねとぶどう (pp.95-99)
- 28 しあわせの王子 (pp.110-113)
- 31 虫が大すき (pp.120-123)

○現代的な課題などに対応する多様な教材

現代的な課題に対応するための教材として、「いじめをなくす」「情報モラル」「生命尊重」の3点に特に重きをおき、該当する教材には目次と教材にマークをつけてわかりやすく示しました。

また、教科書全体を通して、多様な教材を掲載しています。

●生命の尊厳

- 26 今のぼく、むかしのぼく (pp.104-107)
- 27 せい長かいだん (pp.108-109)
- 33 いただきます (pp.126-127)

●自然

- 1 春が いっぱい (pp.6-9)
- 31 虫が大すき (pp.120-123)
- 32 みづかなしぜん (pp.124-125)

●伝統と文化

- 29 日本のたから 富士山 (pp.114-117)
- 30 国旗と国歌を大切に (pp.118-119)
- 35 あがれ、大だこ (pp.130-131)

●先人の伝記・スポーツ

- 31 虫が大すき (pp.120-123)

●情報化への対応

- 9 教えて いいのかな (pp.35-37)

○体験的な学習のできる教材



▲2年 5 みんなのものって? (pp.20-21)

他にも体験的な学習ができる教材を多数掲載しました。

- 3 あいさつ (pp.13-15)
- 4 よいのかな (pp.16-19)
- 5 みんなのものって? (pp.20-23)
- 9 教えて いいのかな (pp.35-37)
- 12 はりきりパンダとだらだらパンダ (pp.45-47)
- 16 きゅう食当番 (pp.62-65)
- 18 ぼんたとかんた (pp.70-74)
- 25 ゆかみがき (pp.100-103)
- 27 せい長かいだん (pp.108-109)
- 29 日本のたから 富士山 (pp.114-117)
- 32 みづかなしぜん (pp.124-125)

2. 対照表

図書の構成・内容と学習指導要領の内容との対応を示します。

- A 主として自分自身に関すること
- B 主として人との関わりに関すること
- C 主として集団や社会との関わりに関すること
- D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
二年生の どうとくの 学しゅうが はじまるよ どうとくでは こんな 学しゅうを するよ	全般	pp.2-3 pp.4-5	—
しぜんとふれ合う 1 春が いっぱい	D [自然愛護] 身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接すること。	pp.6-9	1
気持ちのよいあいさつ 2 知らない 人にも 3 あいさつ (スキル)	B [礼儀] 気持ちのよい挨拶、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接すること。	pp.10-12 pp.13-15	2
きまりをまもって 4 よいのかな 5 みんなの ものって? (スキル)	C [規則の尊重] 約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にすること。	pp.16-19 pp.20-23	2
だれとでも ○なかまはずれを なくす ために 6 たかしくんも いっしょに	C [公正, 公平, 社会正義] 自分の好き嫌いにとらわれないで接すること。	p.24 pp.25-27	1
きそく正しい生活 7 るっぺ どうしたの 8 わたしだけの かばん 9 教えて いいのかな	A [節度, 節制] 健康や安全に気を付け、物や金銭を大切にし、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活をする。	pp.28-31 pp.32-34 pp.35-37	3
いつもすなおに 10 金の おの	A [正直, 誠実] うそをついたりごまかしをしたりしないで、素直に伸び伸びと生活すること。	pp.38-41	1
自分がやるべきこと 11 あと少し 12 はりきりパンダとだらだらパンダ	A [希望と勇気, 努力と強い意志] 自分のやるべき勉強や仕事をしっかりと行うこと。	pp.42-44 pp.45-47	2
友だちとなかよく 13 みほちゃんと、となりのせきのますだくん 14 およげないりすさん	B [友情, 信頼] 友達と仲よくし、助け合うこと。	pp.48-53 pp.54-57	2
あたたかい心で 15 電車の中で 16 きゅう食当番 (スキル)	B [親切, 思いやり] 身近にいる人に温かい心で接し、親切にすること。	pp.58-61 pp.62-65	2
わたしのよさ ○自分のよいところを考えよう 17 とおるさんのゆめ	A [個性の伸長] 自分の特徴に気付くこと。	p.66 pp.67-69	1
よいと思うことをすすんで 18 ぼんたとかんた 19 つよいこころ	A [善悪の判断, 自律, 自由と責任] よいことと悪いこととの区別をし、よいと思うことを進んで行うこと。	pp.70-74 pp.75-77	2
大すきな家ぞく 20 おむかえ 21 ぼくもがんばるよ	C [家族愛, 家庭生活の充実] 父母、祖父母を敬愛し、進んで家の手伝いなどをして、家族の役に立つこと。	pp.78-82 pp.83-85	2

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
楽しい学校 22 大なわ大会	C [よりよい学校生活, 集団生活の充実] 先生を敬愛し, 学校の人々に親しんで, 学級や学校の生活を楽しくすること。	pp.86-89	1
ありがとうの気持ち 23 ありがとうはだれが言う? 24 きつねとぶどう	B [感謝] 家族など日頃世話になっている人々に感謝すること。	pp.90-94 pp.95-99	2
はたらくことのよさ 25 ゆかみがき	C [勤労, 公共の精神] 働くことのよさを知り, みんなのために働くこと。	pp.100-103	1
大切ないのち 26 今のぼく, むかしのぼく 27 せい長かいだん	D [生命の尊さ] 生きることのすばらしさを知り, 生命を大切にすること。	pp.104-107 pp.108-109	2
すがすがしい心 28 しあわせの王子	D [感動, 畏敬の念] 美しいものに触れ, すがすがしい心をもつこと。	pp.110-113	1
国やふるさとに親しむ 29 日本のたから 富士山	C [伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度] 我が国や郷土の文化と生活に親しみ, 愛着をもつこと。	pp.114-117	1
せかいの人たちに親しむ 30 国旗と国歌を大切に	C [国際理解, 国際親善] 他国の人々や文化に親しむこと。	pp.118-119	1
しぜんとふれ合う 31 虫が大すき (アンリ・ファール)	D [自然愛護] 身近な自然に親しみ, 動植物に優しい心で接すること。	pp.120-123	1
しぜんとふれ合う 32 みぢかなしぜん	D [自然愛護] 身近な自然に親しみ, 動植物に優しい心で接すること。	pp.124-125	1
大切ないのち 33 いただきます	D [生命の尊さ] 生きることのすばらしさを知り, 生命を大切にすること。	pp.126-127	1
すがすがしい心 34 雨上がりの空に	D [感動, 畏敬の念] 美しいものに触れ, すがすがしい心をもつこと。	pp.128-129	1
国やふるさとに親しむ 35 あがれ, 大だこ	C [伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度] 我が国や郷土の文化と生活に親しみ, 愛着をもつこと。	pp.130-131	1
学びのきろく 一年間のどうとくの学しゅうをふりかえろう	全般	pp.132-134 pp.135	—
みにつけよう れいぎ・マナー 1 公きょうの場でのマナー 2 学校でのマナー 3 公きょうの場での心くばり 4 ぜん校しゅう会でのマナー	B [礼儀] 気持ちのよい挨拶, 言葉遣い, 動作などに心掛けて, 明るく接すること。	pp.137-138	—
		計	35